

自然と ともにある 未来へ。

朝の太陽がオホーツク海を光で満たすころ、
港では、漁に向かう船がエンジン音を響かせ、
今日の仕事をたくを始めます。

丘の向こうにある畑では、
手早く選り分けられて出荷を待つ、
収穫したての農産物。

網走の人々が季節にとりわけ敏感なのは、
日々鮮やかに移りゆく自然が暮らしの中に溶け込み、
海と大地の恵みがこころに沁みこぼれぬおいしさを
教えてくれるからなのでしょう。

網走の自然のシンボルである流水は、
冬の風物詩としてだけの存在ではありません。
流水が接岸する南限の地で
海の環境の変化を知らせる

高感度なセンサーであると同時に、
オホーツク海に豊富な水産資源をもたらす恵みであり、
変化に富んだ景観やさまざまな農産物を育む
自然のリズムをつくり出しているのです。

自然とともにある暮らしの豊かさを
次世代につないでいくために、
いま私たちができることは、
未来への希望の種をまくことかもしれません。



名勝「天都山」から望む知床連山



天都山地区の桜



国内最大級のサンゴ草群生地



流水と北浜駅



流水原を進む流水観光砕氷船「わーら」



大型機械による大規模農業



ミスバショウの群落

Nature

Drift ice isn't just an iconic winter sight in Abashiri. It also serves as a sophisticated sensor that reveals changes occurring in the marine environment and brings a wealth of aquatic resources into the Sea of Okhotsk. Drift ice also creates stunning scenery and is a crucial part of the seasonal rhythm that allows farmers to produce a variety of products.